

近代への曙

— 会津坂下町域にみる

明治八年の合村—

近日刊行される『会津坂下町史

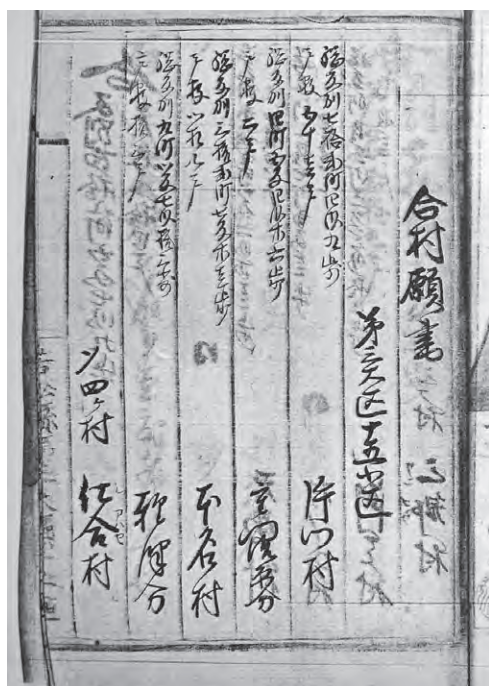
第三巻 通史編Ⅲ 近代・現代』では、戊辰戦争直後から現在までの会津坂下町域の動きをまとめています。その中から、今回は明治八年の合村について紹介します。

慶応三年（一八六七）、江戸幕府による大政奉還、朝廷による王政復古の大号令によって新政府が発足した。新政府は権力を中央に集中させるため、明治二年（一八六九）、全

国の藩主から領地（版）と領民（籍）を天皇に返上させる版籍奉還、明治四年（一八七二）には全国の藩を廃して府県に統一する廃藩置県を行った。

これに先立ち会津地方では、戊辰戦争後の治安確保と民心安定のための直轄県として「若松県」が設置されていた。

新政府は、町村の分合を進め、政府の権力が行き渡る「行政村」を作ろうとした。その第一段階として、明治七年に入り、町村分合を諮問した。しかし、それぞれが長年独立性を保ってきた各村は、そうたやすく応じなかった。そうした村々に対して出された文書が高寺地区に残されている（齋藤洋子家文書）。



明治7年10月 合併願書

政府からの分合の諮問に応じない片門・洲走・杉山・天屋・本名・重門・治原・藤・軽沢分の八か村に対し、明治七年（一八七四）六月、政府は「：無用の支出を省

き人民の便利を得させようというものである。大村に合併すれば村権を失うなどの頑なな説を唱える者があ

るが、誠に遺憾の至りである。：改正困難の事由を来月末日までに申し立てよ。」と、強い姿勢で合併を促した。

これをうけてすぐ、各村の戸長が協議し「天杉走村」「片本沢村」「藤原村」の三か村とする決定がなされた。

しかし、同年八月二十四日の協議により片門・本名・重門・治原・軽沢の四か村で「四合村」、天屋・杉山・洲走の三か村で「三郷村」、藤村のみ一村独立と変更され、十月に若松県へ合併願書を提出した。

ところが、十一月に入って、片門村の「全国の公私の物産の輸送を担う片門駅名は万国に通じる名称である」という理由の村名据置き願書を始め、各村から村名据置きまたは独立の願書が提出された。

最終的に「高寺村」「片門村」「東松村」の三か村となったが、ここへ落ち着くまでの経緯からは、当時の人々の困惑ぶりが伝わってくる。

このような紆余曲折を経て、現会津坂下町域は、明治八年（一八七五）に九二か村から四一か村になり、国

の行政単位に位置づけられていくことになる。

▼問い合わせ先

町史編さん室

☎ 83・2234

会津坂下町史 第三巻 通史編Ⅲ 近代・現代

予約受付中 予約販売価格 4,500円（通常価格5,000円）

予約方法：先日配付いたしましたリーフレットの専用申込ハガキをお使いください。

電話・メールでも受け付けます。

電話 0242 (83) 2234代

メール bunka@town.aizubange.fukushima.jp

4月配本予定でありました『会津坂下町史 第三巻 通史編Ⅲ 近代・現代』は、諸事情により発刊が遅れております。お申し込みいただいた方には大変申し訳ございませんが、もうしばらくお待ちいただきますようお願い申し上げます。刊行日が決まりましたら、ご案内のハガキをお送りいたします。

ばんげの味が育てる その33 おいしい楽しい健やかライフ



～食育サポーター活動「おふくろクッキング教室」より～



「食育で子育て」の体験事業として、家庭料理や郷土料理の実習を行い、若いお母さんたちへ作り方や料理のもつ意義等を伝承しています。今回は2回開催し48名の方が参加され好評を得ました。保育では、ファミリーサポートセンターのご協力をいただきました。

【参加された皆さんからの感想は・・・】

①郷土料理「五目おこわ・こづゆ・くるみ合え等」（2月28日実施）

- 転勤して会津に来たので、会津の料理にとっても興味があり、実際に習うことができて嬉しかった。
- 普段作ったことがない料理が作れてとても良かった。味も美味しく子供もたくさん食べていた。
- 初めてこづゆを作りましたが、下ごしらえの大切さや入れる順番など説明しながらで、とても分かりやすかった。こづゆやおこわを覚えることが出来たし、子供も喜んだのでぜひ作りたい。

②家庭料理「お祝い寿司・澄まし汁・即席漬け等」（3月13日実施）

- 藤寿司がとてもきれいで簡単にできるので、家でも作りたい。
- たたみいわしのチーズサンドは、子供がとても喜んで食べた。カルシウムたっぷりで、美味しかった。だしのとり方も勉強になり、とても良かった。



※おふくろクッキング教室は、郷土の味や家庭の味を再発見したり、親子で食を楽しむ場となっています。24年度も開催する予定ですので、皆さんもぜひ親子でご参加ください。

☆☆☆5月19日（食イクの日）おすすめレシピ☆☆☆

五目ぶかし

←農村で田植えの休憩に間食(小昼)として作られていたご馳走です！

<材料>

もち米	700g (6合)	→洗って水に一晩うるかす
ゴボウ	50g	→ささがきにして水にさらす
人参	50g	→ささがきにする。
ヒジキ	8g	→水にもどす。
油揚げ	2枚	→細切りにして熱湯をかける
干し椎茸	4枚	→戻して細切りにする。
醤油	50ml	
みりん	大さじ2	
油	大さじ2	

<作り方>

- ①もち米はザルにあげ、水切りをしておく。
- ②蒸し器に布を敷き、もち米を入れて蒸す。
(蒸し時間40～50分、打ち水2～3回)
- ③鍋に油を熱し、ゴボウ・人参・ヒジキ・椎茸を炒める。油揚げを加え、椎茸のもどし汁(1カップ弱)・醤油・みりんを入れて煮る。
- ④蒸しが終わったもち米に③を混ぜ、もう一度蒸気を上げる。

【問い合わせ先 健康管理センター TEL 83-1000】



図書室だより Vol.23

中央公民館図書室 TEL 83-3010 (定休日: 第2火曜日)



特集

ブックスタート

ブックスタートとは1992年に英国で始まった、赤ちゃんに絵本を手渡す運動です。日本でも2000年「子ども読書年」を機に、取り組みが広がっています。

ブックスタートの目的は、絵本を「読む」のではなく、赤ちゃん和父母者が一緒に絵本をひろげ楽しいひとときを分かち合う「きっかけ」をつくることです。

会津坂下町では、以前より行っているブックスタート事業に加えて、2011年度から10ヶ月児健診時を利用してブックスタートパックのプレゼントを始めました。

ブックスタートボランティアのみなさんと公民館職員が、地域で子育てを応援していますというメッセージをこめながら絵本を手渡しています。



中央公民館図書室おすすめのブックスタート向きの絵本

『がたんごとんがたんごとん』



さく：安西水丸

福音館書店

「がたんごとん」「のせてください」乗客は赤ちゃんの身近なもの“モノ”たち。
おひざの上に赤ちゃんをのせて「がたんごとん」してあげながら読み聞かせてあげると楽しいですよ。

『ぴょーん』



絵：まつおかたつひで
ポプラ社

ページを縦にめくると、かえるがぴょーん。いぬがぴょーん。色々な生きものがぴょーんとはねます。
赤ちゃんの体あそびを促す1冊です。



中央公民館図書室には、0歳から楽しめる「赤ちゃんの絵本」もたくさんあります。ぜひご利用ください。

『ブックスタート』事業を手伝っていただけるブックスタートボランティアの方を随時募集しています。

興味のある方は中央公民館までご連絡ください。

▼問い合わせ先 TEL 83-3010 担当：佐野・佐藤まで

まちの話題



五十嵐^{こうき}皐暉さん（大沢）、 日本情報オリンピックで 優秀賞を獲得



3月16日に、五十嵐皐暉さん（当時坂下二中3年生）が日本情報オリンピックで優秀賞を獲得し、報告に町役場を訪れました。

五十嵐さんは、約700人が参加したインターネットでの予選で、北海道、東北ブロックでトップ通過し、本選に勝ち上がりました。

全国で優秀賞以上の入賞者はわずか22人で、全国各地の名門進学校の生徒がほとんどで、中学生では2人だけの入賞となりました。

五十嵐さんは、「将来は、コンピュータに関わる研究者になりたい」と、話してくれました。

交通教育専門員辞令交付



会津坂下町交通教育専門員の辞令交付式が行われました。

町の交通教育専門員は3年任期で、山口享専門員（茶屋町）・川上義市専門員（新町）・佐藤浩専門員（塔寺）・長島正博専門員（小原）がそれぞれ再任されました。

交通教育専門員は、朝の登校時の街頭指導や各学校の交通安全教室等にあたっています。

会津坂下町役場の新戦力

昨年行った採用試験の結果、8人が職員として採用され、4月2日から働き始めました。会津坂下町の次世代を担う、新採用職員を紹介します。



松本 由紀
総務部 税務管理班
（新町）

生まれ育った会津坂下町で町職員として働くことが出来て大変嬉しく思っております。

社会人になったばかりで不慣れな部分も多いですが、行政に携わる者として、皆様方のお声をお聞かせいただきながら日々精進してまいります。

この自然豊かな会津坂下町がより住みよい町になるよう明るく元気に頑張りたいと思います。何とぞよろしくお願いいたします。



鈴木 佳奈
生活部 健康増進班
（茶屋町）

会津坂下町職員として責任を持ち、町民の皆さんと共に明るく、住みやすい町づくりに努めていきたいと思っております。

いつも笑顔を忘れず、一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。



武藤 秀忠
生活部 保険年金班
（八日沢）

この4月より、社会人を経て役場職員となりました武藤秀忠です。

これまで社会で経験してきた事を活かして、これからは自分の生まれ育った会津坂下町の為に頑張っていきたいと思っております。



酒井 崇敦
総務部 税務管理班
（新町）

生まれ育った町のために、今まで経験し得た知識を生かして、町政の益々の発展に寄与したいと思っております。



鈴木 達也
建設部 建設班
（村田）

私は、会津坂下町で生まれ育ちました。小さいころから、現在に至るまで町民の方々、またこの町自身に大変お世話になって参りました。

このご恩を返すにはどうすればいいか、それにあたって最適な機会を与えて頂き、大変ありがたく思っております。

これから粉骨砕身頑張っていく所存でおりますので、どうかよろしくお願いいたします。



白井 あゆみ
生活部 健康増進班
（会津美里町）

会津坂下町の皆さんと一緒に健康づくりに取り組んでいきたいと思っております。明るく元気に頑張ります。どうぞよろしくお願いします。



塚原 和哉
建設部 建設班
（喜多方市）

緑豊かな会津坂下の地で働ける事、とても嬉しく思います。

まだまだ右も左も分かりませんが、どんな時でも前を向いて、一生懸命に頑張っていきたいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。



土井 慎太郎
産業部 農林振興班
（金沢）

新社会人なので不安もありますが、一生懸命がんばりますのでどうかよろしくお願いします。



まちの話題

選挙管理委員会委員長に 齋藤正雄さんを選任

4月6日で任期満了を迎えた選挙管理委員が、第1回の定例議会において新たに選任され、4月9日開催の選挙管理委員会で委員長及び職務代理者が決まりました。

今後4年間、選挙の管理執行にご尽力いただくことになります。



写真左側より

山口幸一さん（窪）
石綿宗一さん（三谷）
齋藤正雄さん（諏訪町）
渡部哲夫さん（牛沢）
竹内晃俊町長

ご寄付に感謝します



JA会津みどり様
「農業に関する副読本」

子供たちに食と農への理解と関心を深めてもらうため



（株）みどり様
「シャープ液晶カラーテレビ46型」
会津西部斎苑にて使用して戴きたい

有害鳥獣駆除隊委嘱状交付



会津坂下町の有害鳥獣駆除隊委嘱状交付式が行われました。

隊を代表して芥川克己隊長、佐藤孝隊員、渡部一成隊員が出席し、町長より委嘱状が交付されました。

隊員の任期は1年で、農作物に被害を与えるカラスなどの有害鳥獣の駆除にあたります。

防霜対策本部を設置



霜による農作物被害が予想される時期を向かえ、会津坂下町では防霜対策本部を設置し霜注意報の連絡や技術指導、被害状況の取りまとめ等を正確かつ迅速に行うため、関係機関の連携により構成員を任命しました。

住民の声をお聞かせください

今月号の広報へ「住民の声」を折り込みいたしました。町に対する皆さんの意見、要望、提案、苦情などなんでも結構です。建設的な意見をお待ちしております。

必ず回答いたしますので、記名投票でお願いいたします。氏名の公表はいたしません。

交通安全用品贈呈式



新入学児童・新入園園児の交通安全用品贈呈式が会津坂下警察署で開催されました。明るい社会づくり運動両沼地区協議会から黄色い帽子、町交通対策協議会からランドセルカバーや夜光反射シール、会津坂下地区交通安全協会から交通安全腕章や交通安全ワッペンなどが贈呈されました。

新入学児童を代表して佐藤遥さん（長井）、新入園園児を代表して梅村秋斗くん（鉄砲町）に贈呈した交通安全用品が身につけられました。

交通事故にあわないよう 願いを込めてミニわらじ贈呈



八日沢の山内真一さんが町内4小學校の新入生のために赤・青・黄色の信号機に見立てたミニわらじセットを作り、子どもたちに贈呈しました。今回は、広瀬小學校の新入生1人ひとりに手渡しで贈呈しました。

このミニわらじは、交通事故にあわないようにと一つ一つ願いをこめてすべて手作りで作成しています。